

2019年度

# シェイクスピア祭

2019年4月20日(土) 13:00~16:30

会場: 早稲田大学戸山キャンパス 36号館382教室

[東京都新宿区戸山 1-24-1]

最寄駅からのアクセス

- JR山手線/高田馬場駅 下車 徒歩20分
- 西武新宿線/高田馬場駅 下車 徒歩20分
- 東京メトロ東西線/早稲田駅 下車 徒歩3分
- 副都心線/西早稲田駅 下車 徒歩12分
- 学バス/高田馬場駅—早大正門、馬場下町バス停

一般公開

(予約不要・入場無料)



左から: 山崎清介氏 脚本・演出舞台『ジュリアス・シーザー』(2013年)・『冬物語』(2018年)、  
右: 勝山貴之氏著書『シェイクスピアと異教国への旅』(2017年)

13:00~ ご挨拶

13:10~ トーク「シェイクスピア作品を演出されて  
~シェイクスピア作品を演出して~」

講師 山崎 清介 氏 (子供のためのシェイクスピア  
カンパニー・脚本・演出・俳優)

聞き手 冬木ひろみ 氏 (早稲田大学教授)

15:00~ 講演「シェイクスピアとイスラム世界」

講師 勝山 貴之 氏 (同志社大学教授)

主催: 日本シェイクスピア協会・日本英文学会

お問い合わせ先: 日本シェイクスピア協会事務局 Tel & Fax: 03-3260-8109  
ホームページ: <http://www.s-sj.org>

# 講演概要・講師プロフィール



## 「シェイクスピア作品を演出されて ～シェイクスピア作品を演出して～」

**トーク概要：** 私がシェイクスピア作品と出会ったきっかけ、そして1991年からグローブ座にて演出を受けた作品(13演目)、演出家は出口典雄、ペーター・ストルマーレ、ジェラード・マーフィー、ジョン・レタラック、ロベルト・ルパージュ、彼らと初めて稽古に接したお話をします。また、95年から始まった「子供のためのシェイクスピア」では、96年から演出も担当、初めての演出デビューとなったこの企画でのシェイクスピア作品について、私がこだわったことをお話したいと思っています。

### 山崎 清介(やまさき せいすけ)氏

1957年生まれ。福岡県北九州市出身。83年劇団青年座を退団、84年にEDメタリックシアターを旗揚げ。91年グローブ座カンパニー発足と同時に参加、数々の海外演出家によるシェイクスピア作品に出演する。最近の出演舞台は『ガーデン～空の海、風の国』(渡辺えり作・演出／オフィス3〇〇)、『カトケン・シェイクスピア劇場 ペリクリーズ』(鶴山仁演出／加藤健一事務所)など。脚本・演出作は『Dial A Ghost』『罪と罰』『ドン・キホーテ』(劇団うりんこ)、華のん企画チューホフシリーズ全作品、北九州芸術劇場リーディングセッションVOL.24『雰囲気のある死体』。2012年、長年の活動に対し平成24年度児童福祉文化賞特別賞を受賞。子供のためのシェイクスピアシリーズは95年の初回より全作品に出演、96年からは再演も含め23作品の演出も手がける。2015～2018年、新国立劇場研修所シーンスタディ演出。2018年『桜の森の満開の下』(野田マツ)では演出補として参加する。



## 「シェイクスピアとイスラム世界」

**講演概要：** 従来のシェイクスピア研究において、イスラム世界が注目を集めることはほとんどありませんでした。しかし近年、イスラムとの関係を再検討しようとする研究が相次いで発表されるようになりました。イスラム世界出身の登場人物に対する考察や、作品の舞台となったキリスト教周縁の地への理解が、シェイクスピア研究の新たな展開を示唆してくれます。キリスト教・ヨーロッパと対峙するイスラム世界の重要性に目を向け、シェイクスピア作品における異教の影響についてお話したいと思います。

### 勝山 貴之(かつやま たかゆき)氏

同志社大学文学部英文学科教授。シェイクスピア時代の英国地図および旅行記の研究。英国地図製作の背景にある国家のイデオロギーや、旅行記における異文化との交渉を研究対象としており、ここ数年は、シェイクスピア劇とグローバル交易の関係についての研究を進めている。主著に『シェイクスピアと異教国への旅』(英宝社、2017年)『英国地図製作とシェイクスピア演劇』(英宝社、2014年)。『シェイクスピア時代の演劇世界—演劇研究とデジタルアーカイヴズ』(共著、九州大学出版会、2015年)など。



## 「シェイクピア祭」について

日本シェイクスピア協会と日本英文学会は、シェイクスピアの生誕を祝うのが慣わしとなっている4月23日(聖ジョージの日)頃にシェイクスピア祭を主催し、講演などを行っています。シェイクスピア協会員でなくてもご参加頂けます。